

資料：本宮市における高齢者の状況

	旧本宮町・旧白沢村の合計	本宮市
	平成12年12月 (介護保険開始年)	平成20年12月
人口	31,601人	31,818人
65歳以上の高齢者数	6,127人	7,057人
高齢化率	19.4%	22.2%
65歳以上の介護保険 認定者数	444人	903人

「存じゆか」

地域包括支援センターの活動内容
65歳以上の高齢者の皆さんをサポートします

急速な高齢化が進む中で、介護を必要とする高齢者が増加しています。

高齢者の方を総合的・包括的に支援する機関として、平成18年4月1日から介護保険法の改正に伴い地域包括支援センターが創設されました。

① 主な仕事の内容は、高齢者の総合相談（高齢者の方や家族・

地域住民からの介護・福祉にかかわる総合相談・支援を行います。）

② 権利擁護業務（高齢者の人権や財産を守るため成年後見制度の相談や、虐待の早期発見・防止を進めていきます。）

③ 介護予防サービス利用時の計画作成等（要支援認定者のケアプラン作成等の関わり）

④ 地域のケアマネージャー等への支援（ケアマネージャーやサービス事業所への研修開催や、困難事例に対する助言を行います。）

高齢者のみなさんやその家族、地域住民の方などから様々な相談を受けてどのような支援が必要かを把握し、支援をしていきますのでご利用ください。

◆問い合わせ先

高齢福祉課
地域包括支援センター
☎内線116



▲白沢総合支所の外観イメージ
明るく開放的な空間でご利用いただけます

～機能的で明るいコミュニティ施設～
白沢総合支所新庁舎建設始まる

白岩字堤崎地内で白沢総合支所の建設工事が始まりました。

新庁舎は、現庁舎の老朽化に伴い建設されるもので、市民の皆さんに親しんでもらえるよう、機能的で安全な施設を基本に、気軽に庁舎に入りできる間取りと構造に配慮しました。

また、行政機能のほか市民ホール、ラウンジや行政情報コーナーなど、市民の皆さまに広く利用していただけるよう配慮しています。新庁舎は、今年の10月に完成する予定です。

◆問い合わせ先
白沢総合支所

地域振興課
☎44-2111

白沢総合支所
日直廃止のお知らせ

今年4月から、白沢総合支所の日直業務を廃止します。廃止するのは、土曜日、日曜日と祝日の午前8時30分から午後5時15分までとなります。

白沢総合支所の日直廃止に伴う職員不在時の対応は、次のとおりとなりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■電話対応について

平日の夜間、土日と祝日の電話は、本庁に転送されます。

■戸籍の届出について

本庁で受付しますのでご了承ください。

■庁舎への入室について

原則として入室できません。

◆問い合わせ先

白沢総合支所 地域振興課
☎44-2111

堂々の優勝！ 長井彩香選手
～勿来の関マラソン～

2月11日にいわき市で開催された「第52回勿来の関マラソン」で長井彩香さん（本宮二中2年）は、女子中学生の部で堂々優勝を飾りました。長井選手は昨年12月の「あづま荒川クロスカントリー大会」で優勝、今年1月に行われた「全国都道府県対抗女子駅伝」では本県代表で出場するなど活躍。今回の勿来の関マラソンでは、最後まで高校生とトップ争いを演じました。

長井さんは「最後に高校生に抜かれたのが悔しい。次の大会では頑張りたい」と話し、今後の活躍を誓いました。



【写真】女子中学生の部優勝の長井さん（中央）、女子高校生の部で3位の楠絵美里さん（左、郡山東高2年）と男子中学生の部5位入賞の村上秀さん（右、白沢中2年）。

豊里運輸(株)と
企業立地に関する
基本協定を締結

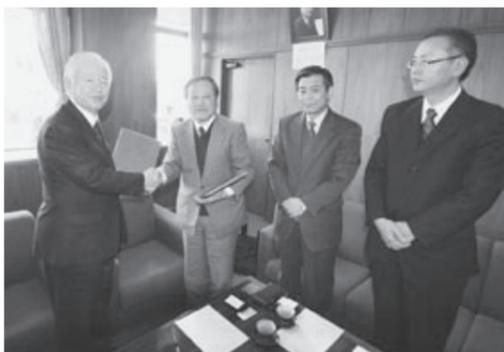
2月18日に本宮市役所において、市と豊里運輸(株)（本社・宮城県登米市石川昌信社長）は、企業立地に関する基本協定書を調印しました。

計画では、本宮北工業団地（本宮字下台地内）に営業所及び駐車場を確保し、一般貨物自動車運送事業を行う予定です。

市長は、「企業立地に向けて支援していく」と話しました。

◆問い合わせ先

商工労政課 企業誘致係
☎内線150



▲佐藤市長と握手を交わす鈴木常務。その隣は、菅野経理課長と高橋福島営業所長が同席した。

シリーズ

「未来に輝くまちづくり」(8)

本宮市長 佐藤嘉重



とりまして、境野先生のお話は大変興味深く、感銘を受けるものでした。

先日、福島県教育委員会の委員をされている境野米子先生とお会いする機会があり、短い時間でしたが、お話しすることができました。境野先生は福島市在住で、「暮らし研究工房」を主宰し、食と健康に関する自らの実践をもとに、全国各地のご講演や多数の著書があり、生活評論家としても活躍されています。

境野先生のお住まいは、築150年という古民家です。自然に包まれた環境の中で土に根ざした暮らしを通して、食と健康についての研究を続けられているそうです。

広報もみや2月号で述べましたように、当面の重点課題の1つとして「健康づくり」を掲げている私に

このため、平成21年度を「健康元年」と位置づけ、本市としての新たな健康づくり事業のスタートの年にしたいと考えています。今年はず、いくつかのテーマを設けて検討を行い、健康に関する話題づくりのための情報提供を進めます。

皆さんと共に考え、共に行動できる協働の環境を整えながら、皆さんが充実した人生を送れるよう、心と体の健康づくりに取り組んでまいります。